



福祉人材センター × 介護福祉士会

ふくし・かいご通信

2021
12
No. 3



発行:社会福祉法人北海道社会福祉協議会
北海道福祉人材センター ☎011-272-6662

北海道福祉人材センター
HPリンク

北海道福祉人材センターでは、一般社団法人北海道介護福祉士会の協力を得て、福祉・介護に関する基礎知識や日常に役立つ情報を定期的に発行しています。

今月は…

介護に対するワンポイント

一般社団法人北海道介護福祉士会 理事 川越 聖士 氏

(社会福祉法人溪仁会介護老人保健施設 コミュニティホーム岩内 介護福祉士 副主任)

食 事

「食べる」というものは生物が生きていくうえでとても欠かせないものとなります。

ただ、食事をして栄養を得るだけでなく、様々な意味や効果があり、その為にも「安全に楽しく食べる」ということがとても重要となります。

食事は味だけでなく、視覚・嗅覚や環境に応じても感じ方が大きく変化し、好みも様々です。

メニューだけでなく、食器などの物品にも意識を向けることも大切となります。

介助が必要な場合は、介護者のペースで一方的にならないようにご利用者の意思を取り入れるようコミュニケーションをとりながら食べる順番など選択して頂くことも重要となります。



介護の現場ではご利用されている方に対して様々な支援を行っております。

その範囲は食事・排泄・入浴・コミュニケーション・その他…と実に多岐にわたります。今回、例に挙げたものに関して注意する事や気にすることなどポイントをお伝えいたします。



(福祉職経験 9年8ヶ月)

排泄

人間の「尊厳」に関わるとてもデリケートな部分となります。支援を行う場合は、様々な点への配慮がとても重要となります。介助を行うにしても、自分のデリケートゾーンを他人に触れられることに嫌悪を感じる方は多いと思います。汚れをしっかりと落としつつ的確・手早く行うことが好ましいです。また、トイレ・居室にしても扉をしっかりと閉める、誘導の声掛けを行うときに大きな声で行わない、といった配慮も必要です。

入浴

汚れを落とすということだけでなく、心身のリラックスや身体状況を確認できる貴重な場となります。入浴時は転倒や浴槽内で溺れるといった事故リスクが高くなっており、注意が必要な場となります。介助に関しては洗身時に腹部・陰部・関節などの皮膚が重なりやすい部位に汚れが溜まりやすく疎かにしてしまうことがあります。汚れが溜まると皮膚トラブルなどの原因となりますので清潔を特に意識することが必要となります。また、皮膚トラブルなどの異変にいち早く気づくことができる機会となりますので、「尊厳」を意識しつつ観察を行うことも大切となります。

コミュニケーション

全てに関係するととても重要な要素となります。目線を合わせる、聞く姿勢をとる、威圧感を与えないといった基本的な事の他に様々なテクニックがあります。例えば相手の話の大事なワードを復唱しての相槌や会話のスピードや仕草を合わせることで話しやすい雰囲気を作り、円滑なコミュニケーションへと繋がります。



最後に

様々なポイントをお伝えいたしました。介護技術も大切ではありますが一番重要なことは介護者と被介護者との信頼関係の構築となります。信頼関係がないとどんなに素晴らしい技術を持って介護を行っても被介護者は嫌悪を感じてしまう方が多いです。その為にも、介護者の一歩的な押し付けとなってしまうないように常日頃からコミュニケーションを図り、その人自身を見つめ関係の構築を行い、被介護者の思いを取り入れることで素晴らしい介護へと繋がります。

次回は…

「私のかいご
ストーリー」

を予定しています。お楽しみに！！



一般社団法人北海道介護福祉士会は、介護福祉士の職業倫理の向上、介護に関する知識技術・経験を深めて資質向上を図り、北海道の福祉の推進に寄与している団体です。

TEL&FAX
011-222-5200



北海道介護福祉士会
HPリンク